

R2K シリーズ

取扱説明書

RS-232-C / RS-485 コンバータ

形式
R2K - 1

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

- ・本器は一般産業用です。安全機器や事故防止システムなど人命や自然破壊など、より高い安全性が要求される用途、また車両制御や燃焼制御機器など、より高い信頼性が要求される用途には、必ずしも万全の機能を持つ物ではありません。
- ・安全にご使用いただくために、機器の設置や接続は、電氣的知識のある技術者が行って下さい。

梱包内容を確認して下さい

- ・本体 1 台
 - ・AC アダプタ 1 個
- ただし AC アダプタは BR2 電源時のみ付きます。

形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

EC 指令適合品としてご使用の場合

下記の条件において正しく設置した場合に EMC 指令に適合できます。

- ・ユニットは盤内蔵形として定義されるため、必ず制御盤内に設置して下さい。
 - ・ノイズフィルタを入れて下さい。
- ユニットの電源、RS-232-C および RS-485 のケーブルには、ZCAT3035 - 1330 TDK 製または相当品をご使用下さい。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

供給電源

- ・許容電圧範囲、電源周波数、消費電流
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。

交流電源：定格電圧 100 VAC の場合

AC 100 V \pm 10 %、50 / 60 \pm 2 Hz

直流電源：定格電圧 24 VDC の場合 DC 24 V \pm 10 %、約 2 W

取扱いについて

- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。

設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -5 ~ +60 (AC アダプタ付は 0 ~ 40) を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。
- ・配線などで本体の通風口を塞がぬようご注意ください。

配線について

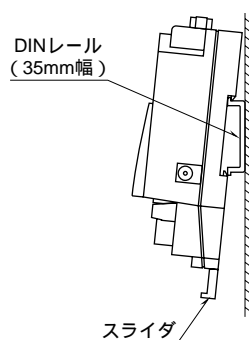
- ・より対線はシールド付より対線 (CPEV-S 0.9) を使用して下さい。また、より対線の終端で使用する場合は、端子 2 - 3 間を短絡して下さい。
- ・誤配線は機器に損傷を与える可能性があります。
- ・ケーブルを可動部に使用したり、強く引っ張らないで下さい。
- ・配線 (電源線、入力信号線) は、ノイズ発生源 (リレー駆動線、高周波ラインなど) の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

取付方法

DIN レール取付の場合

本体はスライダのある方を下にして下さい。

スライダを引出し、フックを DIN レールに掛けて下さい。DIN レールに押しつけた状態でスライダを元に戻して下さい。



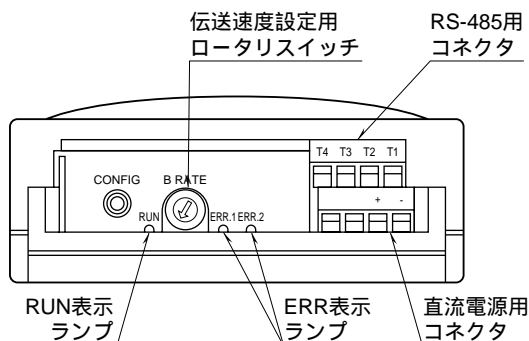
壁取付の場合

本体はスライダのある方を下にして下さい。

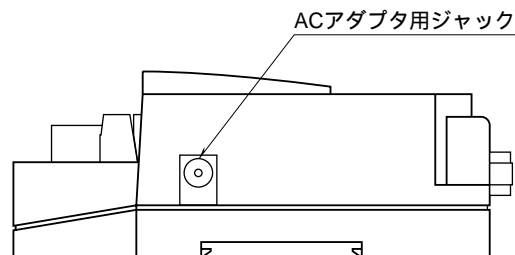
スライダを引出し、次ページの外形寸法図を参考に取付けて下さい。

各部の名称

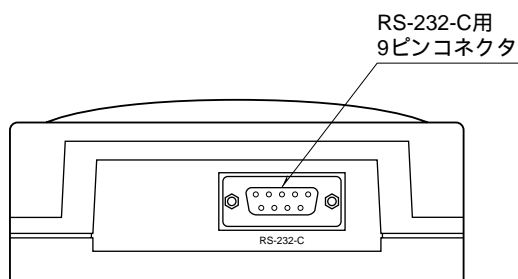
前面図



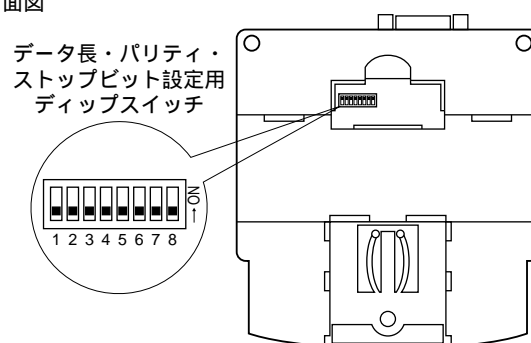
側面図



背面図



下面図



各種スイッチの設定

伝送速度設定

ロータリスイッチ	伝送速度 (bps)
0	300
1	600
2	1200
3	2400
4	4800
5	9600
6	14.4 k
7	19.2 k
8	28.8 k
9	38.4 k (*)
10	57.6 k
11	76.8 k
12	未使用
13	未使用
14	未使用
15	未使用

データ長・パリティ・ストップビット設定

ディップスイッチ	内 容	スイッチ	設 定
1	データ長	ON	7ビット
		OFF	8ビット(*)
2	パリティ	ON	なし
		OFF	あり(*)
3	パリティ	ON	偶数
		OFF	奇数(*)
4	ストップビット	ON	2ビット
		OFF	1ビット(*)
5	未使用	-	-
6	未使用	-	-
7	未使用	-	-
8	エラースルー	ON	エラースルー OFF
		OFF	エラースルー ON(*)

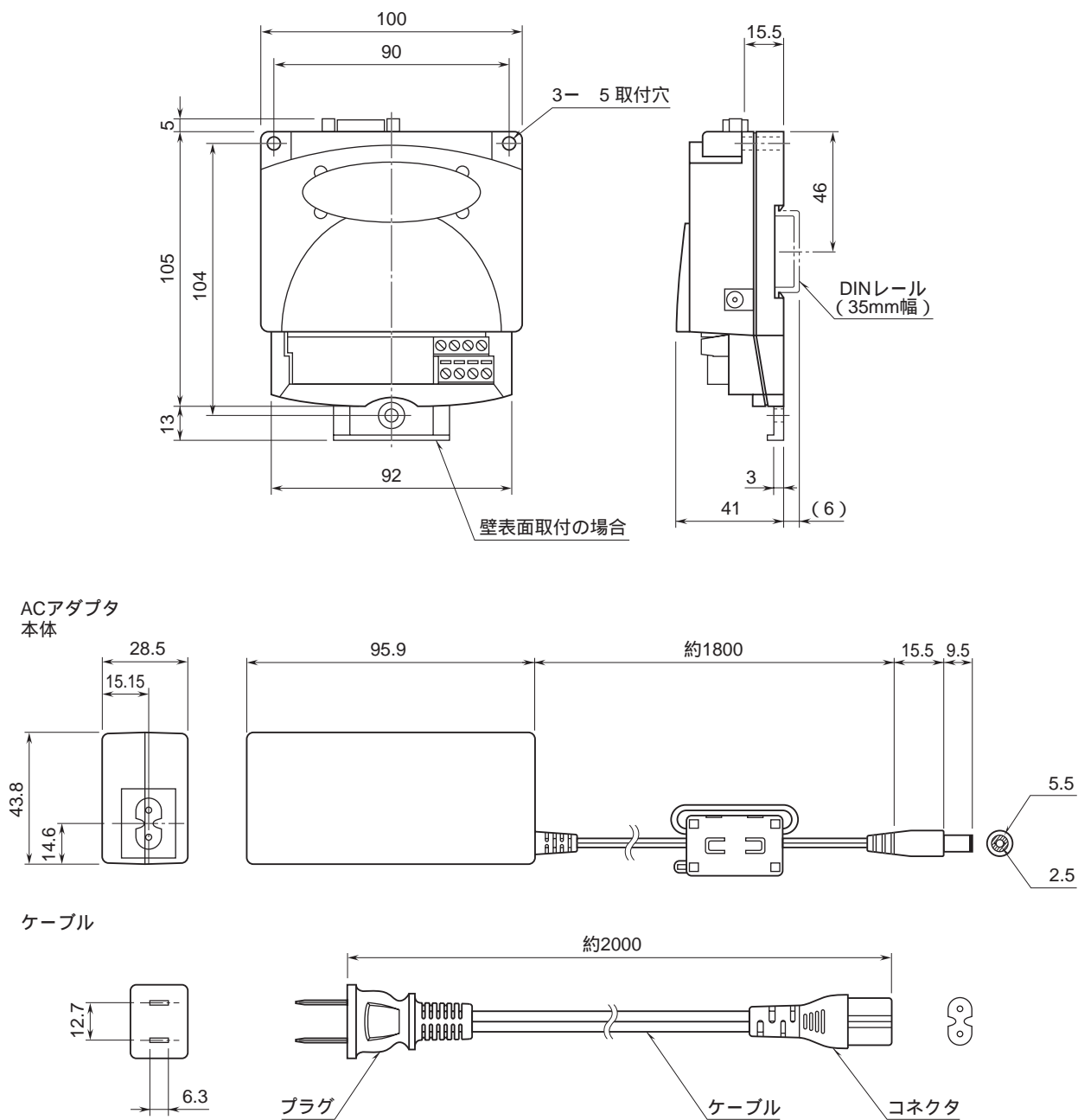
(*) は工場出荷時の設定です。

注) 弊社 PC レコーダソフトなどを使用する場合には、ディップスイッチは工場出荷時のままで通信できます。

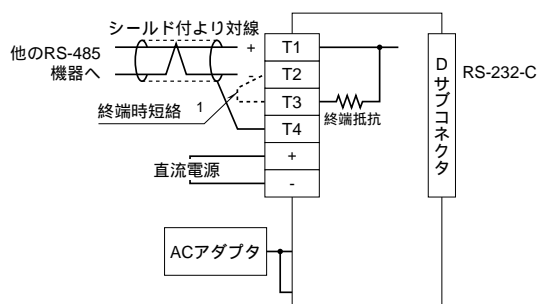
接 続

各端子の接続は下図の端子接続図を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位: mm)



端子接続図



- 1、RS-485の通信ラインの終端になる場合は端子T2、T3間を付属のショートチップ(または配線)で短絡して下さい。
 注、RS-485 - 電源間はアイソレーションされておりません。
 雷による誘導サージ対策のため、当社製電子機器専用避雷器<エム・レスタシリーズ>をご利用下さい。

RS-232-C インタフェース



略号	ピン番号	機能	説明
SD	2	送信データ	本器から送られるデータ信号
RD	3	受信データ	本器に送られるデータ信号
SG	5	信号用アース	信号用アース
CS	7	送信可	本器へのデータ送信許可
RS	8	送信要求	送信要求の信号
	1	接続不可	信号の中継など、他の用途に使用しないで下さい。
	4		
	6		
	9		

点 検

端子接続図に従って結線がされていますか。

供給電源の電圧は正常ですか。

ACアダプタ付でない場合は、端子番号+ - -間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。

保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。